

- 歯学研究科大学院生に対する Evidence-Based Dentistry 教育の取り組み. 第 34 回日本歯科医学教育学会総会、鹿児島、ポスター：2015.
- 19) 唐木純一、角館直樹、花谷智哉、中原孝洋、山口摂崇、福泉隆喜、日高勝美、西原達次：北九州地区4大学による医歯工学連携大学院教育の実施. 第 34 回日本歯科医学教育学会総会、鹿児島、ポスターセッション：2015.
- 20) 一戸達也：歯科医学教育認証評価トライアル修正版における評価項目・規準・観点・視点の紹介. 第 34 回日本歯科医学教育学会学術大会、鹿児島、口頭発表：2015.
- 21) 浜 洋平、水口俊介、佐々木啓一、前田健康、羽村 章、一戸達也、森山啓司：健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム-第1報-初年度を終えて. 第 34 回日本歯科医学教育学会学術大会、鹿児島、ポスターセッション：2015.
- 22) Ichinohe T, Seo K: Japan Critical Incident Initiatives. 14th International Dental Congress on Anesthesia, Sedation and Pain Control, Berlin, Germany, Oral presentation: 2015.
- 23) Ichinohe T: Education of Dental Anesthesiology for Safe and Comfortable Dentistry in Japan: In the Face of Super-Aged Society. 8th Annual Meeting of the Federation of Asian Dental Anesthesiology Societies, Taipei, Taiwan, Oral presentation: 2015.
- 24) 諸富孝彦、角館直樹、西藤法子、吉居慎二、平田一土屋志津、鷺尾絢子、北村知昭、西原達次：「歯の治療学」におけるシナリオベース実習と体験先導型臨床基礎教育の効果. 第 34 回日本歯科医学教育学会学術大会、鹿児島、ポスターセッション：2015.
- 25) 平林文香、岩永賢二郎、沖永敏則、有吉渉、西原 達次：抗体修飾バブルリポソームを活用した抗癌活性の作用機序の解明. 第 57 回歯科基礎医学会学術大会、新潟、：2015.
- 26) 沖永敏則、有吉渉、西原達次：オメガ3脂肪酸は歯周病細菌が誘導するインフラマソーム活性を抑制する. 第 57 回歯科基礎医学会学術大会、新潟、：2015.
- 27) 古田絢也、有吉渉、沖永敏則、西原達次：ヒアルロン酸は生物月的活性により C28/12 細胞の MMP13 発現を抑制する. 第 57 回歯科基礎医学会学術大会、新潟、：2015.
- 28) 田部士郎、引地尚子、有吉渉、沖永敏則、西原達次：神経細胞分化におけるリゾリン脂質アシル転移酵素の働き. 第 57 回歯科基礎医学会学術大会、新潟、：2015.
- 29) 山本雅史、沖永敏則、岩永賢二郎、有吉渉、西原達次：アムホテリシンB含有バブルリポソーム製剤と超音波併用によるカンジダ発育阻止効果について. 第 57 回歯科基礎医学会学術大会、新潟、：2015.
- 30) Fumika Hirabayashi, Kenjiro Iwanaga, Toshinori Okinaga, Wataru Ariyoshi, Tatsuji Nishihara. New drug delivery by sonoporation using anti-EGFR antibody-conjugated microbubbles. Interdisciplinary of Medical, Dental and Soft-material Researches on the move, January 2016, Kitakyushu.
- 31) Masahumi Yamamoto, Kenjiro Iwanaga, Toshinori Okinaga, Wataru Ariyoshi, Tatsuji Nishihara. Growth inhibition of Candida albicans by combination bubble liposomal amphotericin B together with ultrasonication. Interdisciplinary of Medical, Dental and Soft-material Researches on the move, January 2016, Kitakyushu.
- 32) Shuto Hoshiro, Toshinari Maeda, Toshinori Okinaga, Tatsuji Nishihara. Bio-adaptation of periodontal pathogens

- against the phagocytotic and killing effect of macrophage. Interdisciplinary of Medical, Dental and Soft-material Researches on the move, January 2016, Kitakyushu.
- 33) Yuya Ishikawa, Norzawani Jaffar, Toshinari Maeda, Toshinori Okinaga, Tatsuji Nishihara. Antagonist effect of probiotic *Lactobacillus* spp. in the biofilm development of periodontal pathogens. Interdisciplinary of Medical, Dental and Soft-material Researches on the move, January 2016, Kitakyushu.
- 34) Mai Otsuka, Toshinori Okinaga, Wataru Ariyoshi, Chiaki Kitamura, Tatsuji Nishihara. Recombinant ameloblastin regulates IL-1 β expression in LPS-treated human macrophage cells. Interdisciplinary of Medical, Dental and Soft-material Researches on the move, January 2016, Kitakyushu.
- 35) Junya Fruta, Wataru Ariyoshi, Toshinori Okinaga, Sho Mitsugi, Kazuhiro Tominaga, Tatsuji Nishihara. High molecular weight hyaluronic acid regulates MMP13 expression in chondrocyte via DUSP10/MKP5. Interdisciplinary of Medical, Dental and Soft-material Researches on the move, January 2016, Kitakyushu.
- 36) Erina Ikeda, Tetsuya Goto, Kaori Gunjikake, Kayoko Kuroishi, Masae Ueda, Shinji Kataoka, Takashi Toyono, Mitsushiro Nakatomi, Yuji Seta, Chiaki Kitamura, Tatsuji Nishihara, Tetsuo Kawamoto. The expression of VNUT in rat odontoblasts. Interdisciplinary of Medical, Dental and Soft-material Researches on the move, January 2016, Kitakyushu.
- 37) Shiro Tabe, Hisako Hikiji, Wataru Ariyoshi, Tomomi Hayashidate-Yoshida, Hideo Shindou, Toshinori Okinaga, Takao Shimizu, Kazuhiro Tominaga, Tatsuji Nishihara. The role of lysophosphatidylethanolamine acyltransferase 1 in morphology and function of P19C6 cell-derived neurons. Interdisciplinary of Medical, Dental and Soft-material Researches on the move, January 2016, Kitakyushu.
- 38) 礪波健一, 佐野和信, 岩崎直彦, 高橋秀和, 荒木孝二, Xe エキシマランプ照射による象牙質ぬれ性の変化 第 65 回日本歯科理工学会 仙台 一般 2015.
- 39) 荒木孝二:「我が国の歯学教育認証評価制度構築に向けて」 第 142 回日本歯科保存学会 北九州 特別講演Ⅱ 2015.
- 40) 大山篤, 深井穂博, 須永昌代, 木下淳博, 伊藤孝訓, 大沢聖子, 俣木志朗, 荒木孝二: 臼歯部インプラント治療を検討する際の患者の選好 第 34 回日本歯科医学教育学会 鹿児島 一般 2015.
- 41) 新田浩, 礪波健一, 梅森幸, 則武加奈子, 岩城麻衣子, 小田茂, 秀島雅之, 淵田慎也, 荒木孝二, 俣木志朗: 東京医科歯科大学歯学部附属病院歯科医師臨床プログラムの満足度について—全国平均との比較—第 34 回日本歯科医学教育学会 鹿児島 ポスター 2015.
- 42) 高橋一輝, 大渡凡人, 新田浩, 水口俊介, 俣木志朗, 荒木孝二: 歯科医師臨床研修における有病高齢者を対象とした全身管理研修に対する到達度調査 第 34 回日本歯科医学教育学会 鹿児島 ポスター 2015.
- 43) 礪波健一, 山田梓, 梅森幸, 則武加奈子, 岩城麻衣子, 大原里子, 秀島雅之, 新田浩, 小田茂, 木下淳博, 荒木孝二, 俣木志朗: 行動科学基礎体験学習における人間理解に関

- する学生の意識の変化 第 34 回日本歯科医学教育学会 鹿児島 ポスター 2015.
- 44) Ken-ichi Tonami, Chikako Nakamura, Azusa Yamada, Sachi Umemori, Kanako Noritake, Maiko Iwaki, Masayo Sunaga, Satoko Ohara, Masayuki Hideshima, Jun Tsuruta, Hiroshi Nitta2, Shigeru Oda, Atsuhiko Kinoshita, Kouji Araki, Shiro Mataka ;Development of professionalism during experiential learning at welfare facilities. 26th SEAADE Annual Scientific Meeting, Bali, Indonesia, poster 12-15th August 2015
- 45) 則武加奈子, 礪波健一, 大原里子, 梅森幸, 鶴田潤, 小田茂, 俣木志朗, 荒木孝二:初診時医療面接実習における歯学部学生の聴取傾向と診断能力の変化 第 28 回日本口腔診断学会 東京 一般 2015.
- 46) 中村周平, 秀島雅之, 林将太, 荒木孝二, 俣木志朗 : 閉塞性睡眠時無呼吸症候群の診断および快眠歯科(いびき・無呼吸)外来における口腔内装置療法の臨床的有効性に関する検討 第 28 回日本口腔診断学会 東京 一般 2015.
- 47) 礪波健一, 木村康之, 則武加奈子, 保母宏基, 林奨太, 俣木志朗, 荒木孝二 : フラクタル次元を用いた歯冠形態特性の数値化 第 28 回日本口腔診断学会 東京 ポスター 2015
- 48) 木村康之, 礪波健一, 則武加奈子, 林奨太, 保母宏基, 俣木志朗, 荒木孝二 : 東京医科歯科大学歯学部附属病院初診患者の来院動機について 第28回日本口腔診断学会 東京 ポスター2015.
- 49) 木村康之, 礪波健一, 俣木志朗, 荒木孝二 : 健康調査票を用いた本学歯学部附属病院初診患者の来院動機分析 第 80 回口腔病学会記念学術大会 東京 一般 2015.
- 50) 則武加奈子, 鶴田潤, 小田茂, 秀島雅之, 荒木孝二 : 東京医科歯科大学歯学部歯学科包括臨床実習へ協力する患者背景の分析 第 80 回口腔病学会記念学術大会 東京 一般 2015.
- 51) 高橋一輝, 鶴田潤, 礪波健一, 荒木孝二 : 手指巧緻性と切削精度の関連性 第 80 回口腔病学会記念学術大会 東京 一般 2015.
- 52) 大山篤, 石田智洋, 須永昌代, 木下淳博, 大原里子, 荒木孝二 : 60歳代の労働者と退職者の口腔保健行動について第 80 回口腔病学会記念学術大会 東京 一般 2015..

H. 知的財産権の出願・登録状況

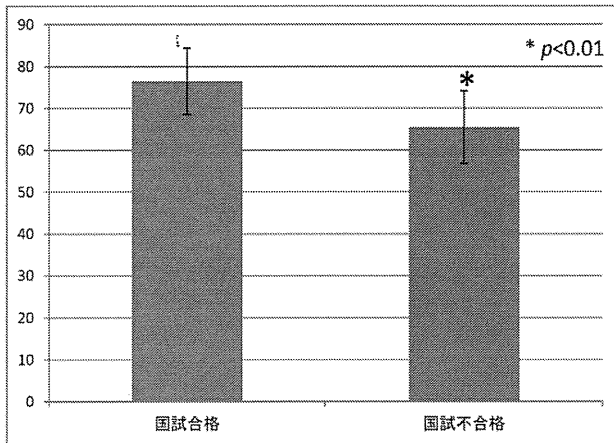
なし

資料1 CBT得点の国試合否別比較

(平成22年CBTと第105回国試、平成23年CBTと第106回国試、
平成24年CBTと第107回国試の比較)

【公立歯科大学A】平成24年CBT、第107回国試

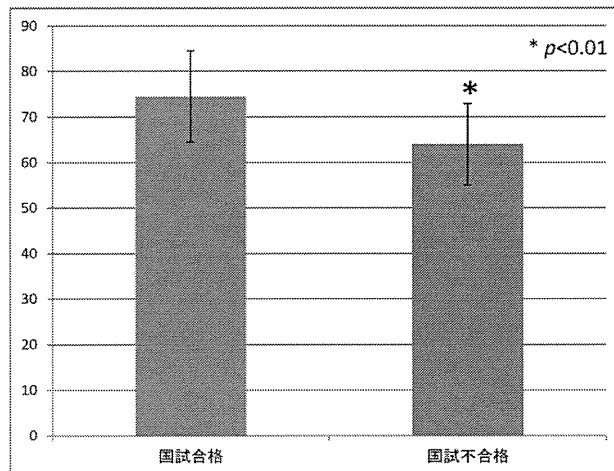
①CBT全体正答率



t検定

	変数 1	変数 2
平均	76.48203704	65.43506
分散	63.06976701	80.32047
観測数	81	17
プールされた分散	65.944884	
仮説平均との差異	0	
自由度	96	
t	5.099256703	
P(T<=t) 片側	0.00000086	
t 境界値 片側	2.36582069	
P(T<=t) 両側	0.00000171	
t 境界値 両側	2.628015844	

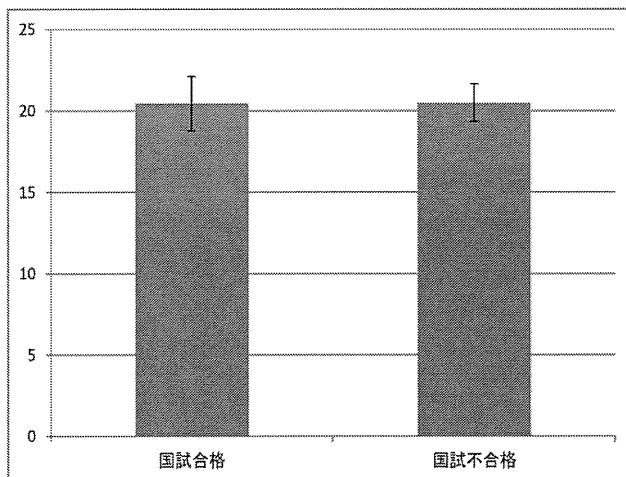
②CBTのDE正答率



t検定

	変数 1	変数 2
平均	74.52093924	63.9677
分散	101.4153877	84.39239
観測数	81	17
プールされた分散	98.57822215	
仮説平均との差異	0	
自由度	96	
t	3.98427247	
P(T<=t) 片側	0.0000659153	
t 境界値 片側	1.66088144	
P(T<=t) 両側	0.000131831	
t 境界値 両側	1.984984312	

③CBTのDE得点の総得点に対する構成割合



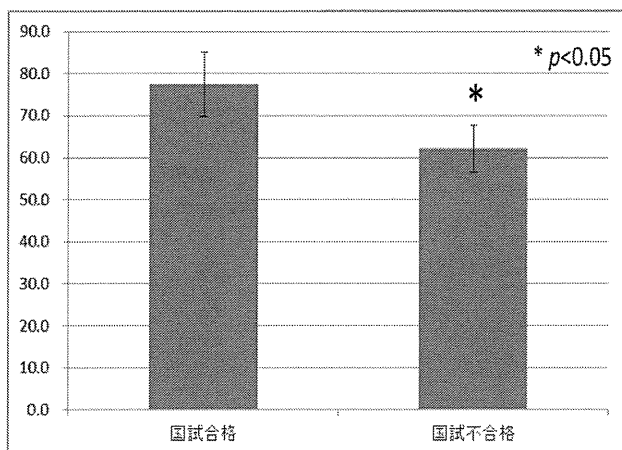
t検定

	変数 1	変数 2
平均	20.44016709	20.53188
分散	2.82741876	1.480364
観測数	81	20
仮説平均との差異	0	
自由度	39	
t	-0.277882838	
P(T<=t) 片側	0.391285094	
t 境界値 片側	1.684875122	
P(T<=t) 両側	0.782570188	
t 境界値 両側	2.02269092	

図1-1 公立歯科大学AにおけるCBT得点の国試合否別比較 (平成24年)

【公立歯科大学A】平成23年CBT、第106回国試

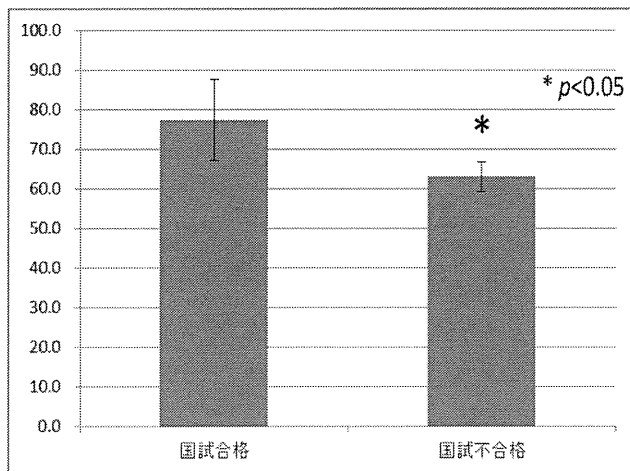
①CBT全体正答率



t検定

	変数 1	変数 2
平均	77.41047	62.12121
分散	58.32521	47.18485
観測数	78	3
プールされ	58.04318	
仮説平均	0	
自由度	79	
t	3.410957	
P(T<=t) 片	0.000511	
t 境界値 片	1.664371	
P(T<=t) 両	0.001023	
t 境界値 両	1.99045	

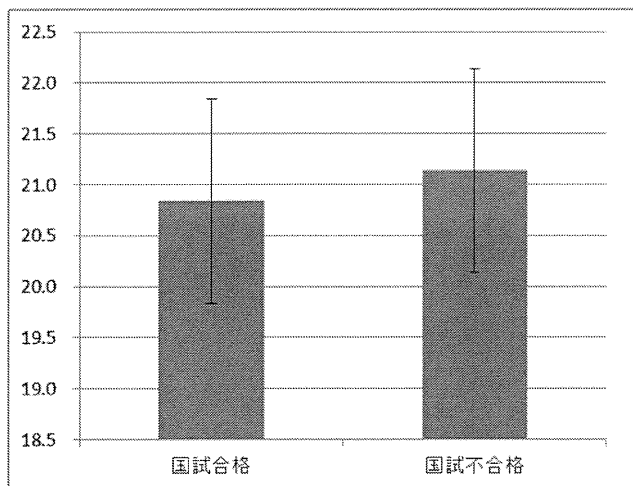
②CBTのDE正答率



t検定

	変数 1	変数 2
平均	77.3087	62.94118
分散	105.3863	21.71626
観測数	78	3
プールされ	103.2681	
仮説平均	0	
自由度	79	
t	2.403058	
P(T<=t) 片	0.009302	
t 境界値 片	1.664371	
P(T<=t) 両	0.018603	
t 境界値 両	1.99045	

③CBTのDE得点の総得点に対する構成割合



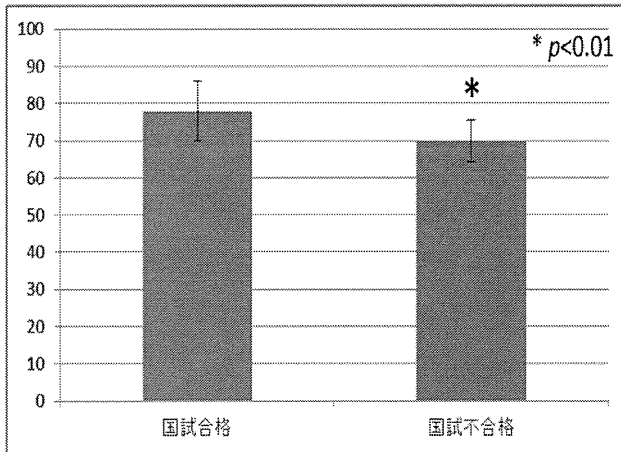
t検定

	変数 1	変数 2
平均	20.84005	21.13542
分散	2.350219	1.011116
観測数	78	3
プールされ	2.316318	
仮説平均	0	
自由度	79	
t	-0.32986	
P(T<=t) 片	0.371189	
t 境界値 片	1.664371	
P(T<=t) 両	0.742377	
t 境界値 両	1.99045	

図1-2 公立歯科大学AにおけるCBT得点の国試合否別比較（平成23年）

【公立歯科大学A】平成22年CBT、第105回国試

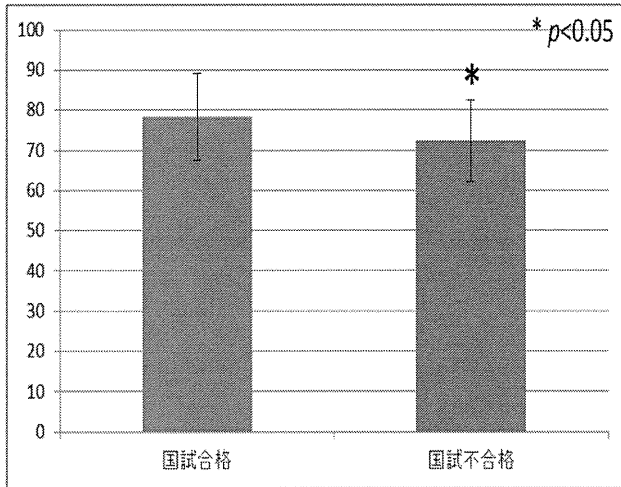
①CBT全体正答率



t検定

	変数 1	変数 2
平均	77.83451	69.89583
分散	65.04276	32.8125
観測数	71	16
プールされ	59.35506	
仮説平均	0	
自由度	85	
t	3.723476	
P(T<=t) 片	0.000176	
t 境界値 片	1.662978	
P(T<=t) 両	0.000352	

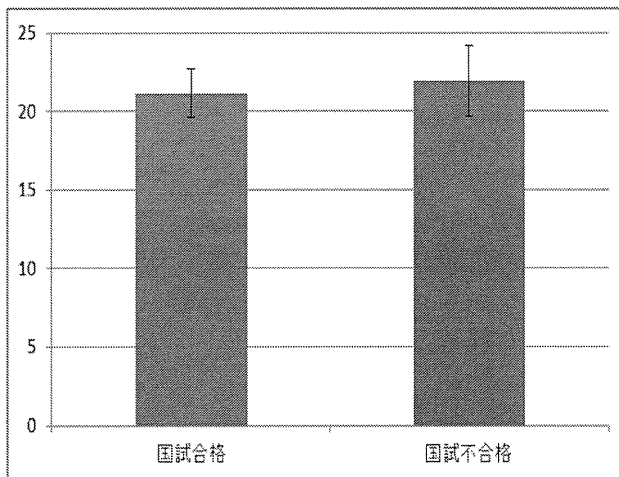
②CBTのDE正答率



t検定

	変数 1	変数 2
平均	78.35405	72.3848
分散	117.8587	110.6525
観測数	71	16
プールされ	116.587	
仮説平均	0	
自由度	85	
t	1.997669	
P(T<=t) 片	0.024475	
t 境界値 片	1.662978	
P(T<=t) 両	0.04895	

③CBTのDE得点の総得点に対する構成割合



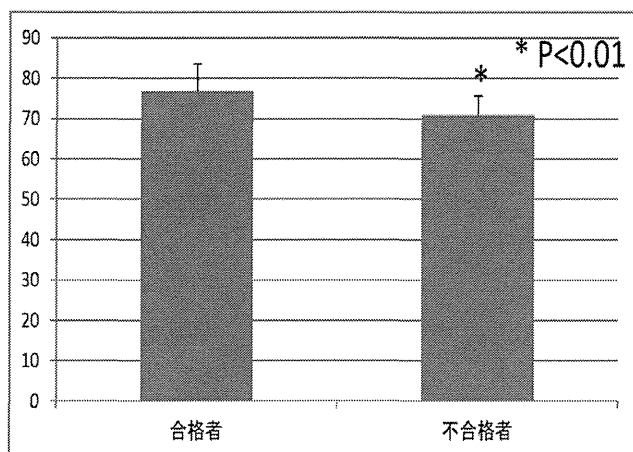
t検定

	変数 1	変数 2
平均	21.15468	21.91459
分散	2.496783	5.480552
観測数	71	16
仮説平均	0	
自由度	18	
t	-1.23648	
P(T<=t) 片	0.116085	
t 境界値 片	1.734064	
P(T<=t) 両	0.23217	
t 境界値 両	2.100922	

図1-3 公立歯科大学AにおけるCBT得点の国試合否別比較 (平成22年)

【国立大学歯学部B】平成24年CBT、第107回国試

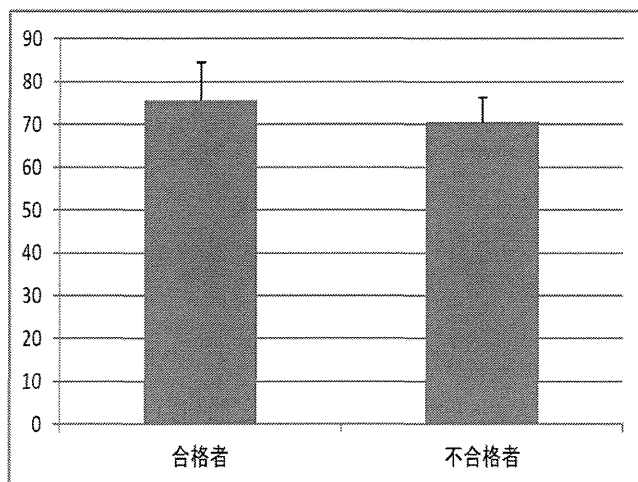
①CBT全体正答率



t検定

標本数1	47
平均値1	76.82
標準偏差1	6.74
標本数2	13
平均値2	70.97
標準偏差2	4.73
有意水準	0.01
検定方法	両側検定
F値	2.030474369
確率	0.091370005
t値	2.927720712
確率	0.004871428
自由度	58

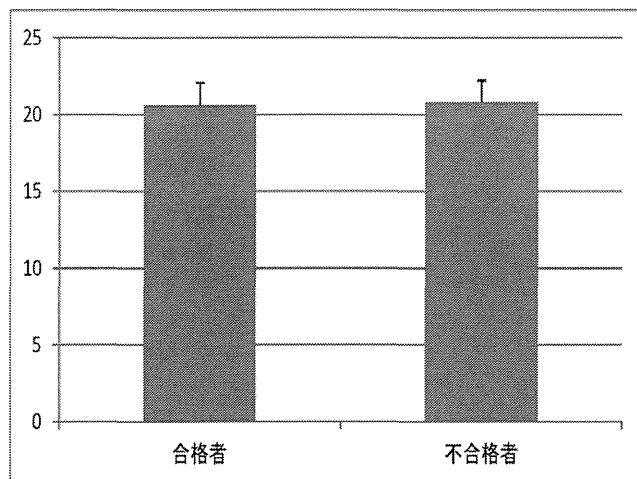
②CBTのDE正答率



t検定

標本数1	47
平均値1	75.66
標準偏差1	8.84
標本数2	13
平均値2	70.65
標準偏差2	5.67
有意水準	0.01
検定方法	両側検定
F値	2.430739465
確率	0.048418267
t値	1.929873041
確率	0.058518121
自由度	58

③CBTのDE得点の総得点に対する構成割合



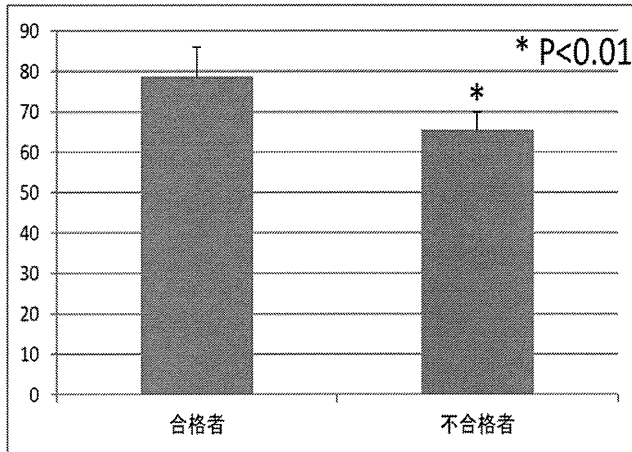
t検定

標本数1	47
平均値1	20.619
標準偏差1	1.439
標本数2	13
平均値2	20.839
標準偏差2	1.388
有意水準	0.01
検定方法	両側検定
F値	1.074837118
確率	0.474272993
t値	0.491425543
確率	0.624980093
自由度	58

図2-1 国立大学歯学部BにおけるCBT得点の国試合否別比較（平成24年）

【国立大学歯学部B】平成23年CBT、第106回国試

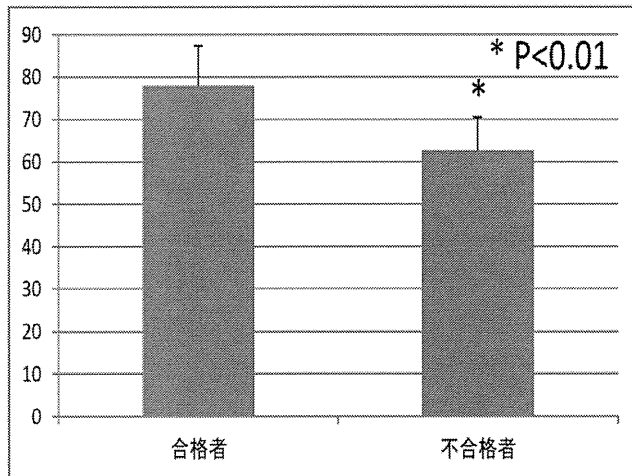
①CBT全体正答率



t検定

標本数1	57
平均値1	78.62
標準偏差1	7.37
標本数2	8
平均値2	65.55
標準偏差2	4.44
有意水準	0.01
検定方法	両側検定
F値	2.755300909
確率	0.080122453
t値	4.872767512
確率	7.77E-06
自由度	63

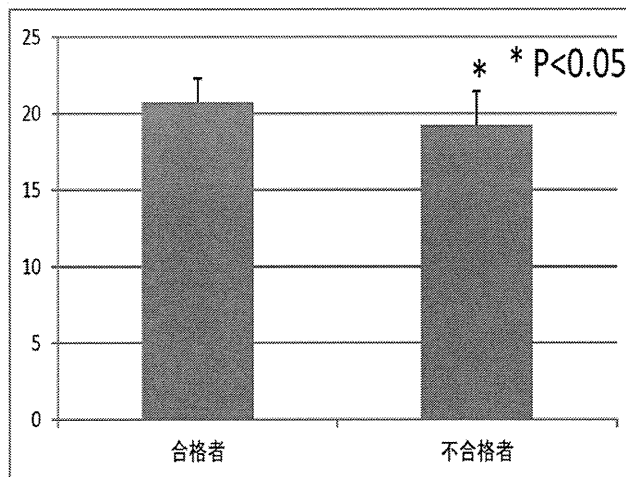
②CBTのDE正答率



t検定

標本数1	57
平均値1	78.055
標準偏差1	9.268
標本数2	8
平均値2	62.784
標準偏差2	7.714
有意水準	0.01
検定方法	両側検定
F値	1.443486682
確率	0.32226305
t値	4.440679495
確率	3.69E-05
自由度	63

③CBTのDE得点の総得点に対する構成割合



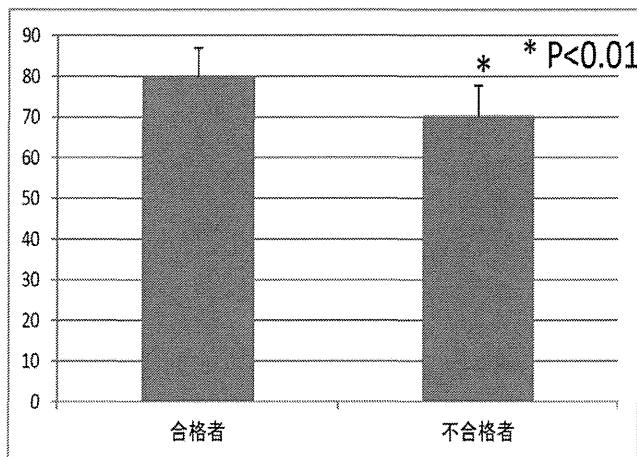
t検定

標本数1	57
平均値1	20.74
標準偏差1	1.55
標本数2	8
平均値2	19.23
標準偏差2	2.19
有意水準	0.01
検定方法	両側検定
F値	1.996295525
確率	0.071749896
t値	2.448345499
確率	1.71E-02
自由度	63

図2-2 国立大学歯学部BにおけるCBT得点の国試合否別比較（平成23年）

【国立大学歯学部B】平成22年CBT、第105回国試

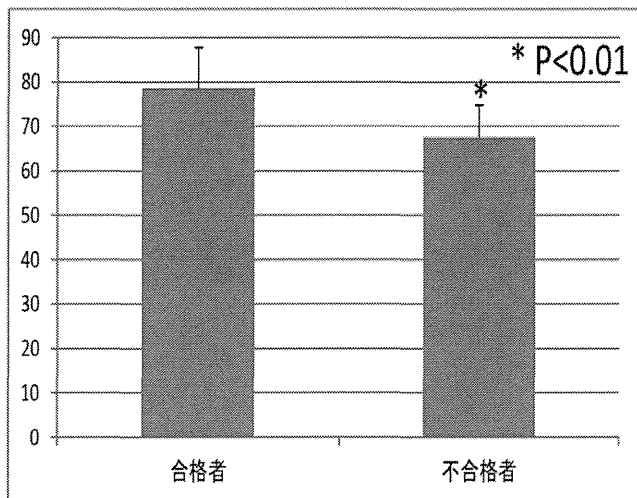
①CBT全体正答率



t検定

標本数1	57
平均値1	79.8
標準偏差1	7.12
標本数2	6
平均値2	70.35
標準偏差2	7.32
有意水準	0.01
検定方法	両側検定
F値	1.056968817
確率	0.393956127
t値	3.08519748
確率	0.003056048
自由度	61

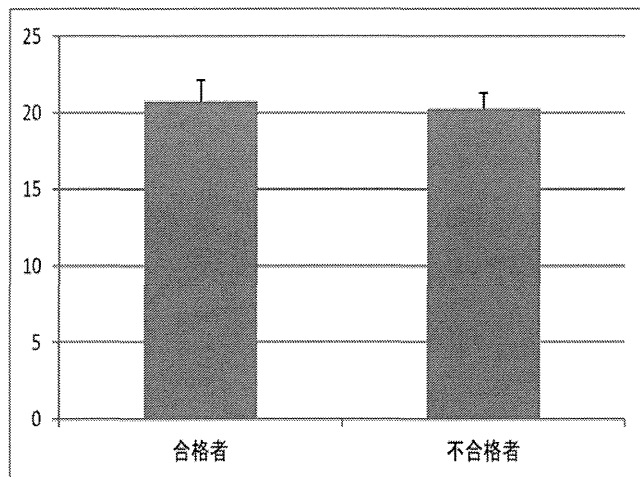
②CBTのDE正答率



t検定

標本数1	57
平均値1	78.6
標準偏差1	9.1
標本数2	6
平均値2	67.63
標準偏差2	7.16
有意水準	0.01
検定方法	両側検定
F値	1.615313192
確率	0.31425329
t値	2.853620293
確率	0.005895818
自由度	61

③CBTのDE得点の総得点に対する構成割合



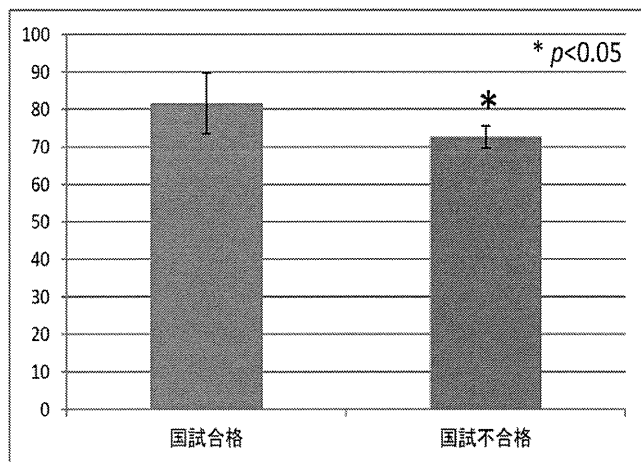
t検定

標本数1	57
平均値1	20.755
標準偏差1	1.374
標本数2	6
平均値2	20.247
標準偏差2	1.03
有意水準	0.01
検定方法	両側検定
F値	1.779504195
確率	0.271356484
t値	0.877323838
確率	0.383753056
自由度	61

図2-3 国立大学歯学部BにおけるCBT得点の国試合否別比較（平成22年）

【国立大学歯学部C】平成24年CBT、第107回国試

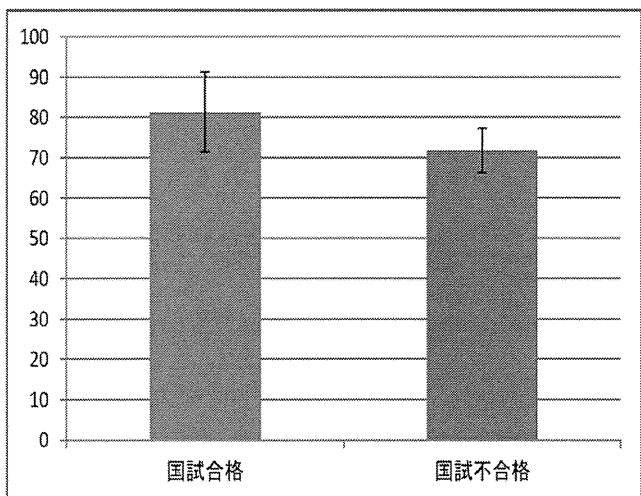
①CBT全体正答率



t検定

	変数 1	変数 2
平均	81.61783	72.62397
分散	67.41686	11.54008
観測数	33	4
プールされ	62.62742	
仮説平均 μ	0	
自由度	35	
t	2.146595	
P(T<=t) 片	0.019418	
t 境界値 t_{α}	1.689572	
P(T<=t) 両	0.038836	
t 境界値 $t_{\alpha/2}$	2.030108	

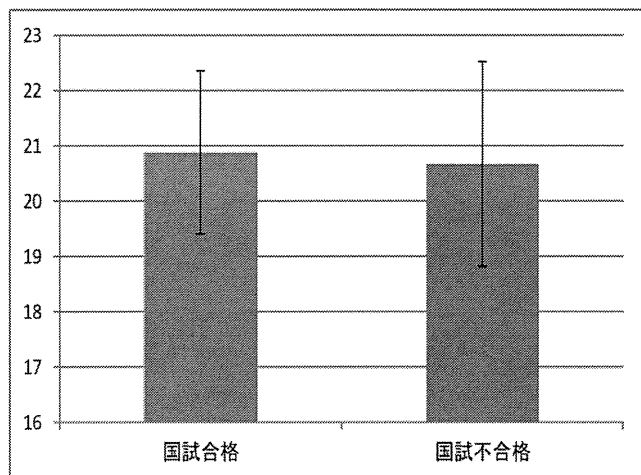
②CBTのDE正答率



t検定

	変数 1	変数 2
平均	81.30838	71.80392
分散	101.7321	40.49519
観測数	33	4
プールされ	96.48323	
仮説平均 μ	0	
自由度	35	
t	1.827627	
P(T<=t) 片	0.038071	
t 境界値 t_{α}	1.689572	
P(T<=t) 両	0.076141	
t 境界値 $t_{\alpha/2}$	2.030108	

③CBTのDE得点の総得点に対する構成割合



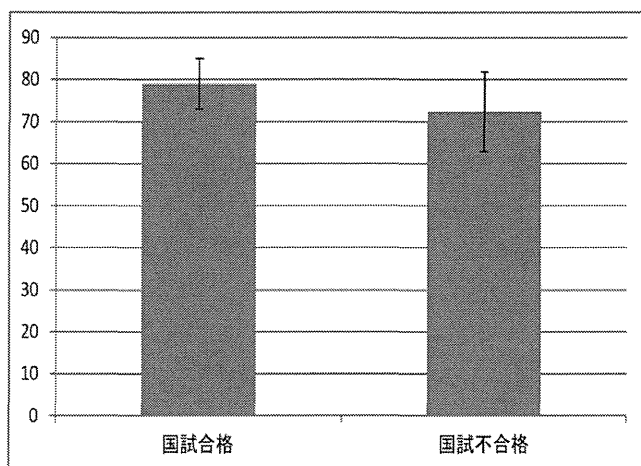
t検定

	変数 1	変数 2
平均	20.88215	20.67056
分散	2.241427	4.578373
観測数	33	4
プールされ	2.441737	
仮説平均 μ	0	
自由度	35	
t	0.255763	
P(T<=t) 片	0.399815	
t 境界値 t_{α}	1.689572	
P(T<=t) 両	0.799631	
t 境界値 $t_{\alpha/2}$	2.030108	

図3-1 国立大学歯学部CにおけるCBT得点の国試合否別比較 (平成24年)

【国立大学歯学部C】平成23年CBT、第106回国試

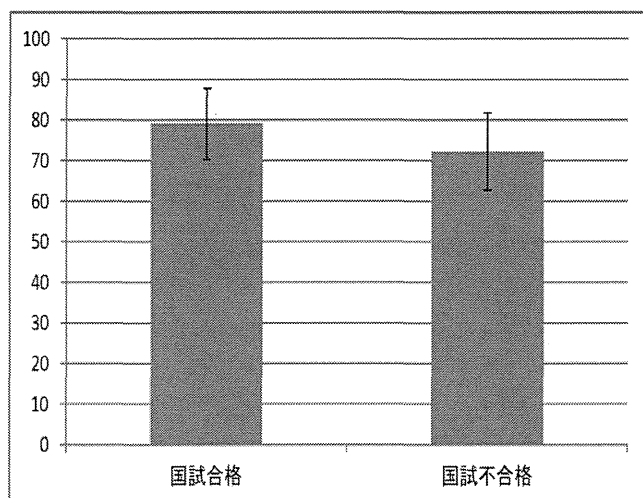
①CBT全体正答率



t検定

	変数 1	変数 2
平均	79.02613	72.31405
分散	36.40277	180.6571
観測数	37	2
仮説平均差	0	
自由度	1	
t	0.702413	
P(T<=t) 片	0.305085	
t 境界値 片	6.313752	
P(T<=t) 両	0.61017	
t 境界値 両	12.7062	

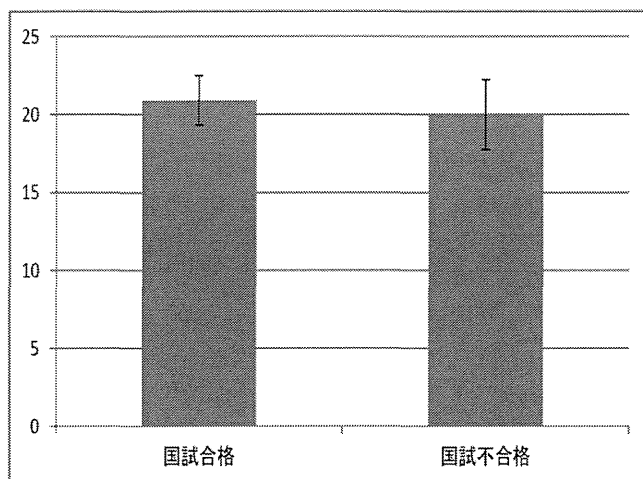
②CBTのDE正答率



t検定

	変数 1	変数 2
平均	79.11606	70.47059
分散	79.03196	614.5606
観測数	37	2
仮説平均差	0	
自由度	1	
t	0.491493	
P(T<=t) 片	0.35459	
t 境界値 片	6.313752	
P(T<=t) 両	0.70918	
t 境界値 両	12.7062	

③CBTのDE得点の総得点に対する構成割合



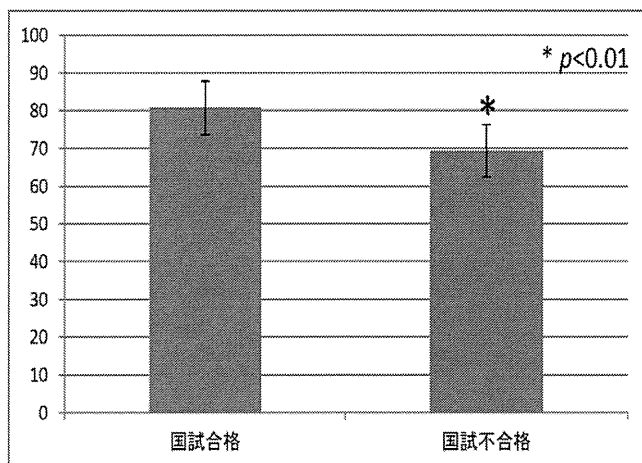
t検定

	変数 1	変数 2
平均	20.92188	19.99269
分散	2.568372	9.941627
観測数	37	2
プールのされ	2.767649	
仮説平均差	0	
自由度	37	
t	0.769366	
P(T<=t) 片	0.22328	
t 境界値 片	1.687094	
P(T<=t) 両	0.44656	
t 境界値 両	2.026192	

図3-2 国立大学歯学部CにおけるCBT得点の国試合否別比較 (平成23年)

【国立大学歯学部C】平成22年CBT、第105回国試

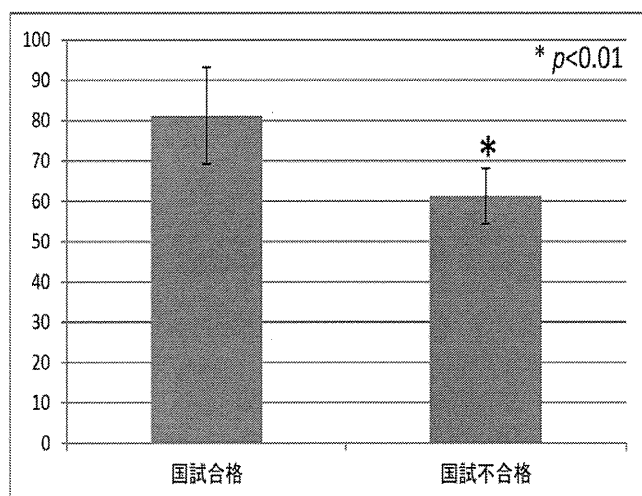
①CBT全体正答率



t検定

	変数 1	変数 2
平均	80.75203	69.375
分散	51.08697	63.25231
観測数	41	4
プールされ	51.93572	
仮説平均	0	
自由度	43	
t	3.01378	
P(T<=t) 片	0.002157	
t 境界値	1.681071	
P(T<=t) 両	0.004314	
t 境界値	2.016692	

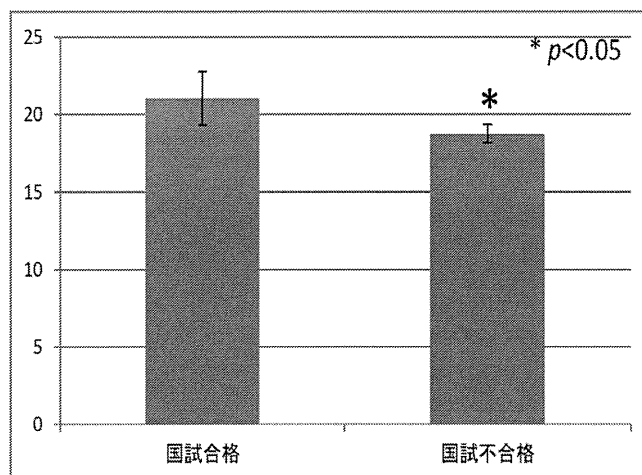
②CBTのDE正答率



t検定

	変数 1	変数 2
平均	81.12386	61.27451
分散	147.4804	62.47597
観測数	41	4
プールされ	141.5499	
仮説平均	0	
自由度	43	
t	3.184985	
P(T<=t) 片	0.001347	
t 境界値	1.681071	
P(T<=t) 両	0.002693	
t 境界値	2.016692	

③CBTのDE得点の総得点に対する構成割合



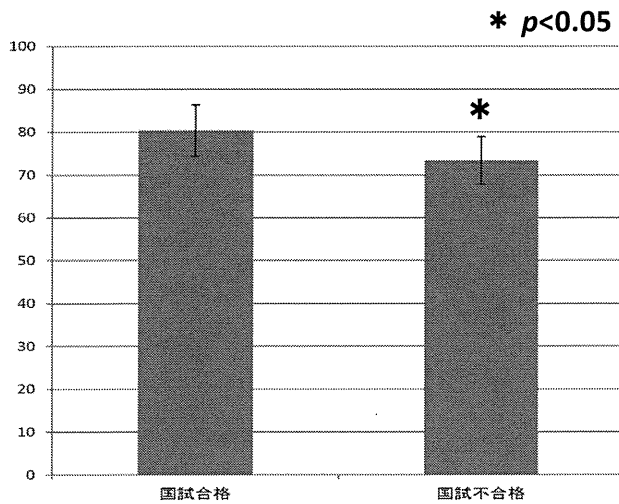
t検定

	変数 1	変数 2
平均	21.05387	18.75687
分散	3.046832	0.458967
観測数	41	4
プールされ	2.866283	
仮説平均	0	
自由度	43	
t	2.590107	
P(T<=t) 片	0.006523	
t 境界値	1.681071	
P(T<=t) 両	0.013046	
t 境界値	2.016692	

図3-3 国立大学歯学部CにおけるCBT得点の国試合否別比較 (平成22年)

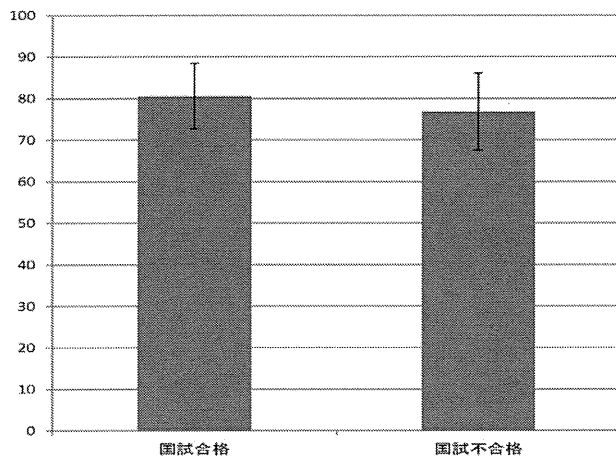
【私立歯科大学D】平成24年CBT、第107回国試

①CBT全体正答率



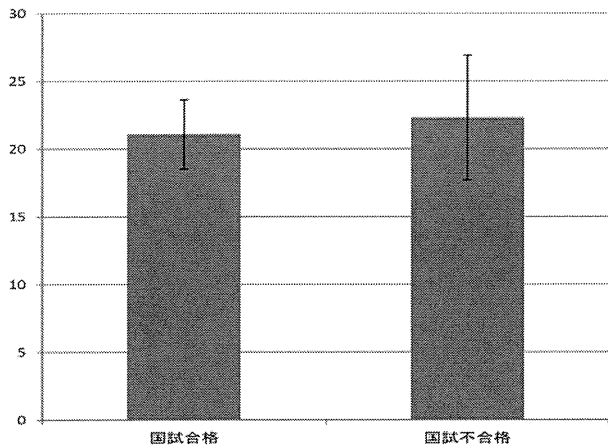
- ・平均値
国試合格 80.38
国試不合格 73.34
- ・標準偏差
国試合格 5.96
国試不合格 5.52
- ・P(T<=t) 両側
→ 0.0231832642544054

②CBTのDE正答率



- ・平均値
国試合格 80.56
国試不合格 76.81
- ・標準偏差
国試合格 7.90
国試不合格 9.24
- ・P(T<=t) 両側
→ 0.361200878806518

③CBTのDE得点の総得点に対する構成割合

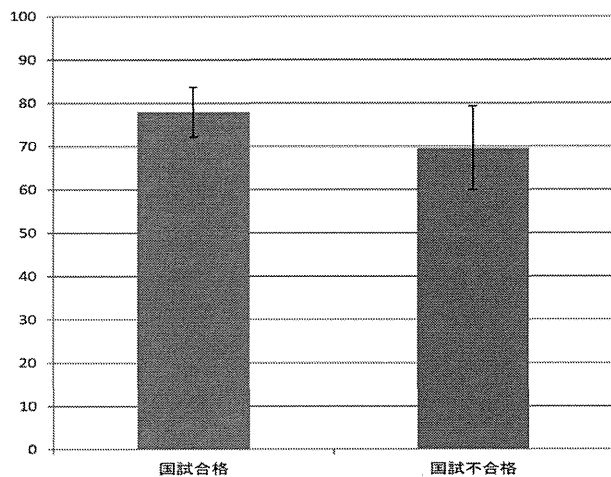


- ・平均値
国試合格 21.08
国試不合格 22.31
- ・標準偏差
国試合格 2.57
国試不合格 4.58
- ・P(T<=t) 両側
→ 0.373445704508373

図4-1 私立歯科大学DにおけるCBT得点の国試合否別比較（平成24年）

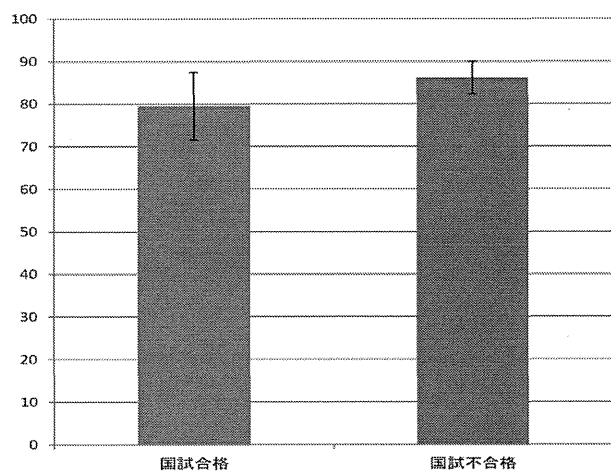
【私立歯科大学D】平成23年CBT、第106回国試

①CBT全体正答率



- ・平均値
国試合格 77.95
国試不合格 69.62
- ・標準偏差
国試合格 5.77
国試不合格 9.71
- ・P(T<=t) 両側
→ 0.0515389855063754

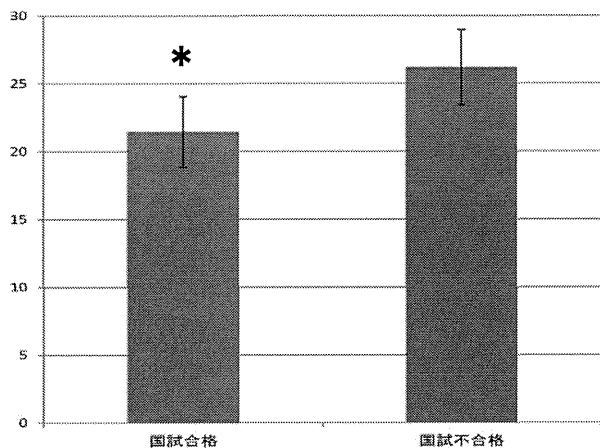
②CBTのDE正答率



- ・平均値
国試合格 79.55
国試不合格 86.18
- ・標準偏差
国試合格 7.95
国試不合格 3.82
- ・P(T<=t) 両側
→ 0.246953021208075

③CBTのDE得点の総得点に対する構成割合

* $p < 0.05$

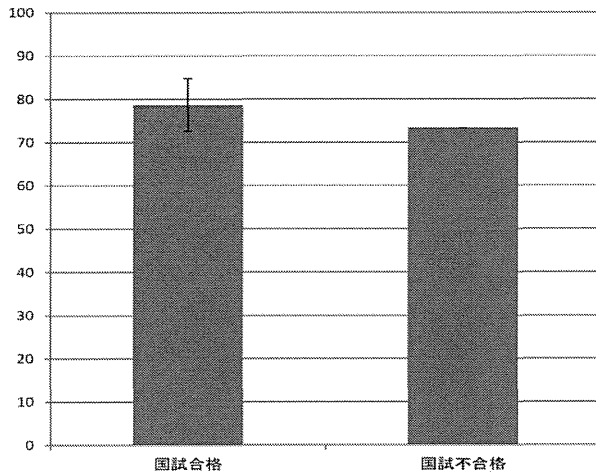


- ・平均値
国試合格 21.46
国試不合格 26.20
- ・標準偏差
国試合格 2.60
国試不合格 2.76
- ・P(T<=t) 両側
→ 0.0129028892675535

図4-2 私立歯科大学DにおけるCBT得点の国試合否別比較（平成23年）

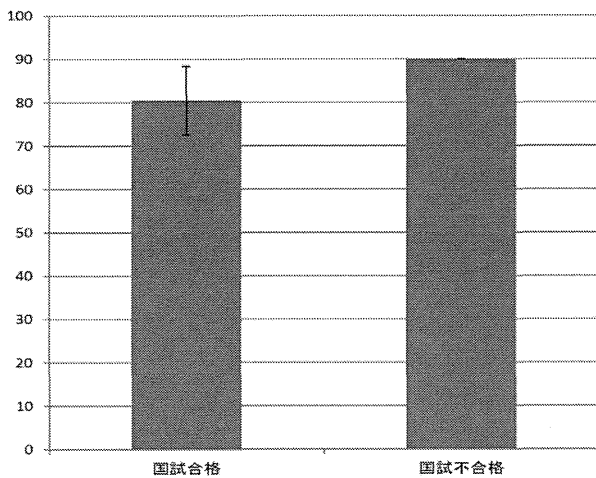
【私立歯科大学D】平成22年CBT、第105回国試

①CBT全体正答率



- ・平均値
国試合格 78.71
国試不合格 73.33
- ・標準偏差
国試合格 6.06
国試不合格 不明
- ・P(T<=t) 両側
→ 0.380984686278834

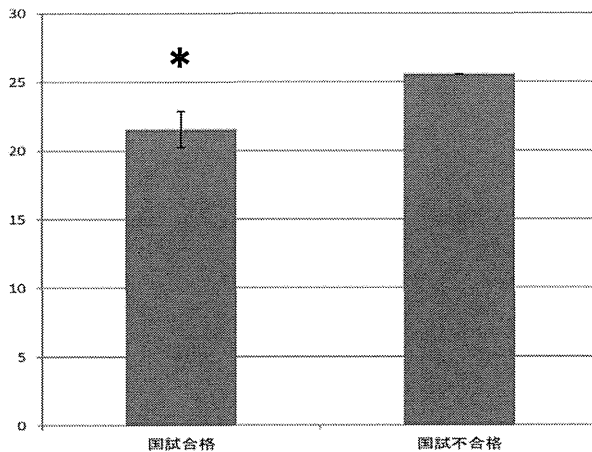
②CBTのDE正答率



- ・平均値
国試合格 80.48
国試不合格 90.00
- ・標準偏差
国試合格 7.92
国試不合格 不明
- ・P(T<=t) 両側
→ 0.236175358902913

③CBTのDE得点の総得点に対する構成割合

* $p < 0.01$



- ・平均値
国試合格 21.56
国試不合格 25.57
- ・標準偏差
国試合格 1.32
国試不合格 不明
- ・P(T<=t) 両側
→ 0.00316701153413666

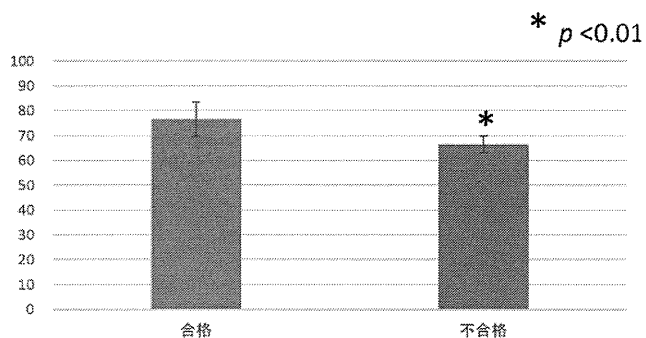
図4-3 私立歯科大学DにおけるCBT得点の国試合否別比較（平成22年）

資料2 CBT得点の国試合否別比較

(平成25年CBTと第108回国試の比較)

【公立歯科大学A】

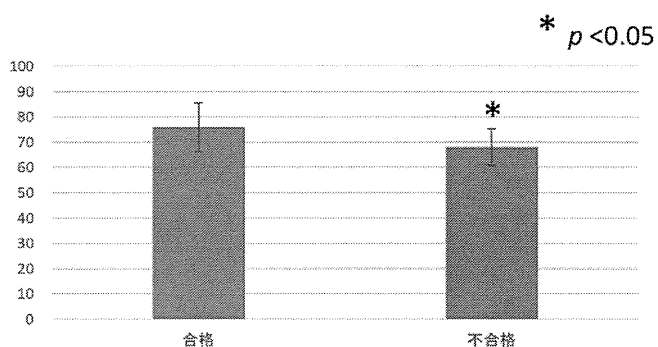
①CBT全体正答率



t検定

	変数 1	変数 2
平均	76.56077	66.49903
分散	46.47027	12.46142
観測数	73	11
仮説平均との差異	0	
自由度	23	
t	7.564071	
P(T<=t) 片側	5.53E-08	
t 境界値 片側	1.713872	
P(T<=t) 両側	1.11E-07	
t 境界値 両側	2.068658	

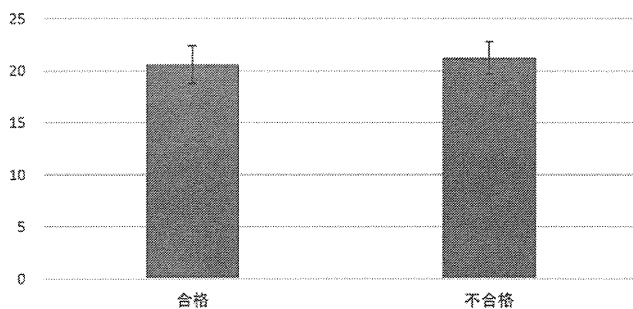
②CBTのCD正答率



t検定

	変数 1	変数 2
平均	75.98779	68.03494
分散	93.61969	57.33788
観測数	73	11
プールされた分散	89.19508	
仮説平均との差異	0	
自由度	82	
t	2.603578	
P(T<=t) 片側	0.005474	
t 境界値 片側	1.663649	
P(T<=t) 両側	0.010949	
t 境界値 両側	1.989319	

③CBTのCD得点の総得点に対する構成割合



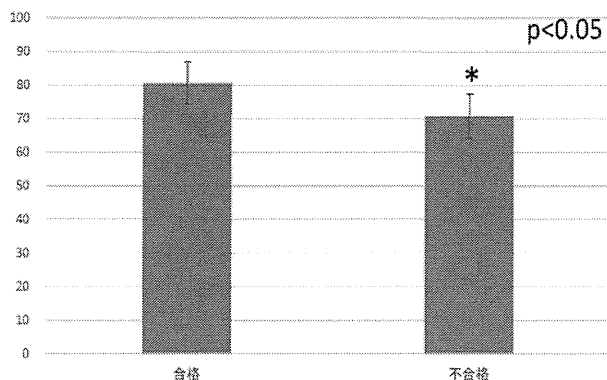
t検定

	変数 1	変数 2
平均	20.59356	21.26047
分散	3.4253144	2.7386242
観測数	73	11
プールされた分散	3.3415717	
仮説平均との差異	0	
自由度	82	
t	-1.128003	
P(T<=t) 片側	0.1313041	
t 境界値 片側	1.6636492	
P(T<=t) 両側	0.2626081	
t 境界値 両側	1.9893186	

図1 公立歯科大学AにおけるCBT得点の国試合否別比較 (平成25年CBT、第108回国試)

【国立大学歯学部B】

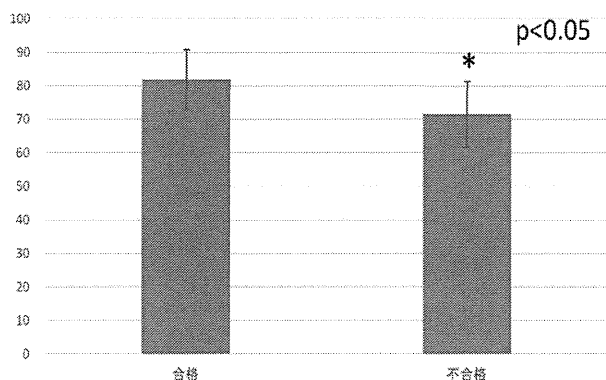
①CBT全体正答率



t検定

	変数 1	変数 2
平均	80.73404	70.86743
分散	39.66048	45.95188
観測数	40	13
プールされた分散	41.14081	
仮説平均との差異	0	
自由度	51	
t	4.818317	
P(T<=t) 片側	6.7E-06	
t 境界値 片側	1.675285	
P(T<=t) 両側	1.34E-05	
t 境界値 両側	2.007584	

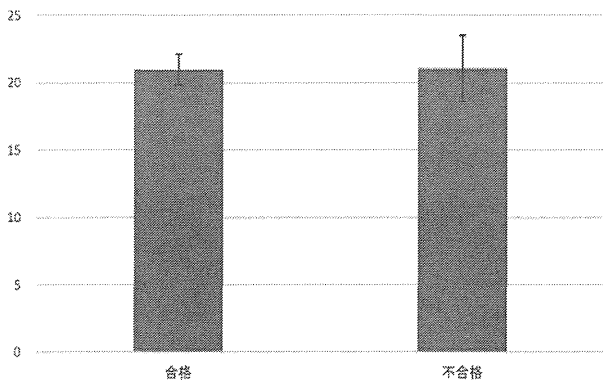
②CBTのCD正答率



t検定

	変数 1	変数 2
平均	81.89838	71.58556
分散	83.09456	105.1378
観測数	40	13
プールされた分散	88.28121	
仮説平均との差異	0	
自由度	51	
t	3.438012	
P(T<=t) 片側	0.000588	
t 境界値 片側	1.675285	
P(T<=t) 両側	0.001175	
t 境界値 両側	2.007584	

③CBTのCD得点の総得点に対する構成割合



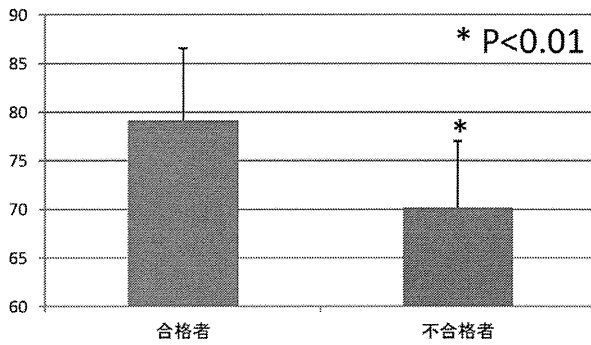
t検定

	変数 1	変数 2
平均	21.00833	21.08386
分散	1.354512	6.56587
観測数	40	13
仮説平均との差異	0	
自由度	14	
t	-0.10288	
P(T<=t) 片側	0.459758	
t 境界値 片側	1.76131	
P(T<=t) 両側	0.919516	
t 境界値 両側	2.144787	

図2-1 国立大学歯学部BにおけるCBT得点の国試合否別比較 (平成25年CBT、第108回国試)

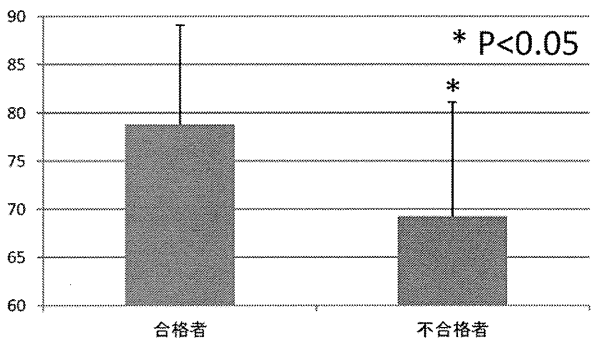
【国立大学歯学部C】

①CBT全体正答率



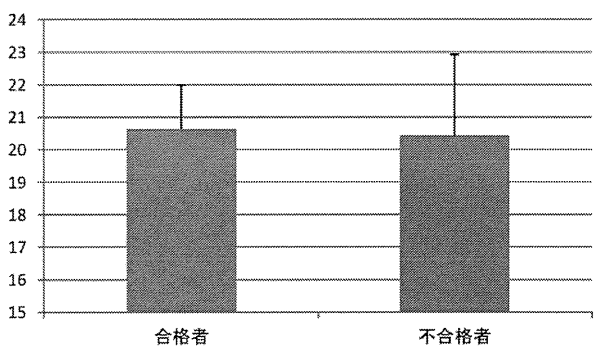
t検定	
標本数1	43
平均値1	79.15
標準偏差1	7.42
標本数2	8
平均値2	70.16
標準偏差2	6.84
有意水準	0.01
検定方法	両側検定
F値	1.17678089
確率	0.446768681
t値	3.180978686
確率	0.00254682
自由度	49

②CBTのCD正答率



t検定	
標本数1	43
平均値1	78.8
標準偏差1	10.31
標本数2	8
平均値2	69.25
標準偏差2	11.85
有意水準	0.05
検定方法	両側検定
F値	1.321050349
確率	0.264451789
t値	2.352345791
確率	0.022716796
自由度	49

③CBTのCD得点の総得点に対する構成割合



t検定	
標本数1	43
平均値1	20.63
標準偏差1	1.36
標本数2	8
平均値2	20.44
標準偏差2	2.49
有意水準	0.05
検定方法	両側検定
F値	3.35213019
確率	0.006276197
t値	0.21007285
確率	0.838862292
自由度	7.794574555

図2-2 国立大学歯学部CにおけるCBT得点の国試合否別比較 (平成25年CBT、第108回国試)